令和 6 年度 三木市防災会議 議事録

開催日時：令和 7 年 2 月 25 日(火)

午後 3 時 00 分～午後 4 時 00 分

1. 開会 進行：仲上係長

2. あいさつ 仲田市長

3. 議長選出

- ・仲田市長を指名。

4. 協議事項

- (1) 「三木市地域防災計画（本編）」および「三木市地域防災計画（参考資料集）」の修正事項
（危機管理課 山本課長より説明）

《質疑応答》

(委員からの意見)

- ・2 ページの「第 4 節男女共同参画の視点を踏まえた防災計画の作成」について、事前質問で「女性等を参画させる」を「女性等を参画する」へ修正の意見が出ていたと思うが、修正されていないが、これは修正しないということか。

(三木市防災会議事務局：以下、「事務局」という)

- ・該当箇所について、修正を行う。

(委員からの意見)

- ・災害時の情報収集について、公民館には Wi-Fi などを設置してインターネットが使えるようになっていると思うが、学校施設なども災害時の避難所になるので、Wi-Fi の設置と学校の体育館に冷暖房設備の設置をお願いしたい。

(事務局)

- ・災害時の情報収集については、非常に重要だと思っている。しかしながら、Wi-Fi や学校の体育館に冷暖房設備の設置については、施設管理者と協議して調整をさせていただきたい。なお、通信手段が寸断された場合の三木市の体制については、広報車による伝達のほか、防災行政無線を各地区市立公民館および三木南交流センターに配置している。

(会長)

- ・学校の体育館の冷暖房設備の設置について、来年度、三木中学校に冷暖房設備を設置する予算を計上している。まずは、三木中学校でどんな方法がいいのか試験的に整備し、良い方法が見つかれば翌年度からは全中学校に、その後、小学校に冷暖房設備を設置するという方針で進めている。

(委員からの意見)

- ・5 ページ「第 5 節避難誘導」の避難所以外に滞在する被災者への対応について、具体的にどのように情報を提供し、どのように物資を届けるのか。

(事務局)

- ・自主防災組織の協力を得ながら、避難所以外に避難されている方の把握に努めたいと考えている。このほか、大規模災害の場合は、市災害対策本部を立ち上げるので、市災害対策本部へ連絡していただき避難所以外に避難されている方の把握に努めたいと考えている。

その他、質疑及び意見はなく、指摘事項を修正のうえ承認された。

(2) 「三木市災害時受援・応援計画」の修正について

(危機管理課 山本課長より説明)

《質疑応答》

(委員からの意見)

- ・17 ページの自衛隊派遣要請のフローの「第 3 特科隊長」を「中部方面特科連隊長」へ修正をお願いしたい。

(事務局)

- ・該当箇所について、修正を行う。

(委員からの意見)

- ・11 ページの播磨広域防災連携協定を締結しているが、具体的にどのような応援の内容なのか。
- ・例えば、兵庫県行政書士会では、平成 30 年から播磨広域防災連携協定を締結しており、災害時に行政書士を活用できることになっている。市では活用できることについて把握しているのか。

(事務局)

- ・自治体間での相互応援の内容になる。具体的には、人的支援や物的支援を行うこととな

っている。

- ・兵庫県行政書士会が播磨広域防災連携協定を締結しているのは存じ上げなかった。現在、「災害時における被災者相談業務」に関しては、兵庫県弁護士会と兵庫県司法書士会と災害時応援協定を締結している。

その他、質疑及び意見はなく、指摘事項を修正のうえ承認された。

【報告事項】

- (3) 「避難情報発令の判断・伝達マニュアル」の修正について
(危機管理課 山本課長より説明)

《質疑応答》

(会長)

- ・7ページの「三木本町」水位計の改正前の基準水位はどれくらいであったか。

(事務局)

- ・改正前の基準水位は、氾濫開始相当水位が4.41m、氾濫危険水位が3.40m、避難判断水位が3.05m。なお、氾濫注意水位と水防団待機水位については変更なし。

(委員からの意見)

- ・「三木本町」の氾濫開始相当水位が5.09mに修正されたが、別紙5で、平成16年水害時に4.56mが観測され、浸水箇所がありとなっている。その時の氾濫水位よりも高い水位となっているが、改修工事をした等、大丈夫になった理由を確認したい。

(事務局)

- ・平成16年水害時と現在では、水位設定の基準となる観測場所が変わっている。平成16年水害時の観測場所は、東条町公民館裏で4.5mに水位設定の基準をしていたが、現在の観測場所は、中央公民館裏を水位設定の基準としている。

(委員からの意見)

- ・16ページに指定避難所としてイオン三木店が記載されているが、ここが避難所として開設されたときに閉店時間後も避難できるのか。

(事務局)

- ・イオン三木店は指定避難所として指定しているため、閉店時間後も避難することができる。

(委員からの意見)

- ・危険が過ぎるまで朝まで避難できるということか。

(事務局)

- ・避難できる。ただし、イオン三木店は風水害時のみの避難所となる。

(委員からの意見)

- ・11 ページの高齢者等避難や避難指示などの伝達文を修正しているように、12 ページの土砂災害の場合の伝達文も同様に修正していただきたい。

(事務局)

- ・ご指摘の内容について修正を行う。

(委員からの意見)

- ・11 ページの高齢者等避難や避難指示などの伝達文について、外国人向けは別途作成しているのか。

(事務局)

- ・現在のところ、外国人向けについては作成していない。

(委員からの意見)

- ・三木市国際交流協会ですぐにわかりやすい日本語があった気がするが、三木市も外国人が増えてきているので作成してはどうか。

(事務局)

- ・現在、本市が行っている外国人対応としては、やさしい日本語で書かれたコミュニケーション支援ボードというものを各指定避難所に備え付けている。これは、外国人の方が指定避難所へ避難された際にどういったことを考えているのかを伝えるために使用する。
- ・さらに、ひょうご防災ネットのアプリで外国人向けがある。三木市国際交流協会と連携して、外国人の防災研修を行い、そこでアプリに加入してもらえよう呼びかけを行っている。
- ・避難情報の伝達方法については、どういう方法があるのかを三木市国際交流協会と連携しながら検討していきたいと考えている。

5. その他

《特記事項なし》

6. 閉会 進行：仲上係長